

8/25
 2012年第1115号
 (毎月5、15、25日発行)

大阪府歯科保険医協会
 会誌
 発行人 志岐 幸一
 大阪府浪速区幸町1-2-33
 電話(06)6568-7731(代表)
 http://osk-net.org/
 ●定価・年間10,000円 月1,000円
 ●1977年5月23日第三種郵便物認可

消費増税法が可決・成立

民自公が強行採決、景気悪化は必至

消費増税と社会保障削減を柱とする「税と社会保障の一体改革」関連8法案は、10日の参院本会議で強行採決され、民主・自民・公明3党などの賛成多数で可決、成立した。消費増税だけで13・5兆円という未曾有の巨大負担増となる。デフレ下での増税実施は初めてであり、国民生活や医療経営、景気への悪影響は避けられない見通しだ。

病院経営へ打撃

消費増税法案では、税率を2014年4月に8%、15年10月に10%に引き上げる。大和総研の試算では、年収500万円の4人世帯で消費増税負担増が約17万円、年金保険料や住民税の負担増を合わせると家計負担は11年に比べて30万円超の増加となる。GDPの6割を占める家計の消費支出は冷え込み、深刻な景気後退を招く。

歯科医院への打撃も深刻だ。平均的な診療所では、仕入れにかかる消費税を転嫁できないことから生じる「損税」負担が、年間34万から78万円に倍増する。国民の生活悪化に伴う受診抑制の影響と合わせ、経営悪化は避けられない。

さらに、社会保障「改革」では、社会保障費の削減が、年間34万から78万円に倍増する。国民の生活悪化に伴う受診抑制の影響と合わせ、経営悪化は避けられない。

増税撤回へ議員要請

協会、不信任決議求める

協会・保団連は、消費増税関連法案・社会保障制度改革推進法案の撤回と、野田内閣不信任決議案の採択を求めて2日に国会要請行動を実施した。協会の下井戸昭介副理事長、中西幹夫・森啓理事、永田悦夫顧問、古田光行監事が参加した。面談した服部良一衆院議員は「二つの法案が成立すると損税は肩代わり、進を掲げている。民主は2009年の総選挙で、任期中は「消費増税しない。議論もしない」と訴え、政権交代を果たした。公約に真向から反する政策に、国民の強い批判が巻き起こっている。近く実施される解散総選挙での審判が求められている。



基軸

TPP参加と日本の医療

ルポライター 矢吹紀人

6月中旬にメキシコで開かれたG20の場で野田首相とオバマ大統領は、日本のTPP交渉参加に向け日米協議を進める努力をすることを確認したと報じられた。この報道からも、日本のTPP参

加がアメリカ主導のものであることがわかる。オバマ大統領が2010年の年頭教書で、「5年間で貿易額を2倍にし、200万人の雇用を創出する」と宣言したことは有名だ。07年のサブプライムローン破綻から始まり、08年のリーマンショックと経済

主眼は非関税障壁の排除

モノの貿易を超えた本質

この時オバマ大統領は同時に、「金融を含むサービス貿易を3倍にする」という政策も打ち出している。現在のアメリカ経済においては、GDPの約75%は金融を含むサービスで成り立っている。ところが、アメリカのサービス輸出は全体の30%に過ぎない。貿易を拡大して経済を立て直すという考えたとき、最大の

主眼でないことは一目瞭然だ。投資やサービス、政府調達、環境、労働などに加え、紛争解決も交渉分野にあげられている。TPPでは、多国籍企業の利益のために様々な形で「非関税障壁の排除」が押しつけられることが、私たち国民の暮らしに大きな影響を与える懸念が

TPPの24の作業部会

主席交渉協議	貿易保護	サービス(e-commerce)
市場アクセス(工業)	政府調達	投資
市場アクセス(繊維・衣料品)	知的財産権	環境
市場アクセス(農業)	競争政策	労働
原産地規制	サービス(クロスボーダー)	制度的事項
貿易円滑化	サービス(電気通信)	紛争解決
SPS(検査、及びそれに付随する措置)	サービス(一時入国)	協力
TBT(貿易上の技術的障壁)	サービス(金融)	横断的事項特別部会

紙面へのご意見や感想、投稿記事などを新聞部までお寄せください。紙面に掲載させていただいた場合は、図書カード3千円分を進呈いたします。(郵送やファクスで、協会新聞部までお寄せください)

7月度生涯研修講座

“反対咬合は低学年で改善を”

矯正テーマに108人参加



「見通しのない早期治療は止めるべき」と語る土屋雅文氏(7月22日、M&Dホール)

歯科臨床学術部は、土屋雅文氏(神戸市・つちや矯正歯科クリニック理事長)を講師に7月22日、生涯研修講座「矯正をめざすGPのための診察ノート」をM&Dホールで開いた。参加は108人で会員の関心の高さが伺われた。患者からの「矯正治療はいつ始めればよいか」との問いに対し、我われGPにおいては反対咬合の子どもの診察と、明確にいつからと答えられないことが多い。学会においてもできるだけ早い時期に、あるい

大阪府・市がパブコメ

地下鉄・バス売却など

大阪府と大阪市は、「府市統合本部」が取りまとめた事業の見直し案について、意見を募集している。地下鉄・バスの売却民営化や、病院・大学の統合など、生活に直結する重大な問題が含まれている。意見の応募や詳細は、府市のホームページ参照。8月31日締め切り。大阪府 <http://www.pref.osaka.jp/daitoshiseido/ab/> 大阪市 http://www.city.osaka.lg.jp/templates/jorei_boshu/toshiseidokaikakuhitsu/0000178815.html

歯界

浦島太郎に似たタイムトリップの物語は、世界中にあるらしい。森で雨にぬれた洞で一寝入りして村に帰った猫師は60年寝ていたという話は、オランダ製である。時の流れが速くなりわずか6〜7年で浦島になってしまふ。

は成長のコントロールが難しいので永久歯列になってから、と意見が分かるところである。土屋氏の見解は、小学校低学年では反対咬合の改善のみを行い、中学生になってからマルチブラケットを用いて改善を図ることで良い結果が得られるとのことだった。また、見通しのない早期治療、患者の理解の得

ゲームメーカーの「グリー」が「モバゲー」のDeNA社を著作権侵害で訴えた裁判では、知財高裁はDeNAに対しゲームの配信差し止めと損害賠償支払いを命じた一審判決を取り消し、グリーの請求を棄却した。一審では2億3400万円の賠償金を支払うことになっていたから、DeNAの代理人弁護士報酬は相当の額になるだろう。ちよまよまと医事裁判なんか引き受けている同業者が馬鹿に見えるもおかしくない。浦島にはさっぱり分からぬ世の中だ。